

1 基本情報

施策名	3 - 1 都市拠点にぎわうまちづくり				戦略名	拠点創造プロジェクト			
担当	主担当部	都市建設部	主担当課	都市計画課					
	部長名	高石 和明	関係課	市民活動支援課	産業振興課	道路課			

2 取組目標 (Plan)

取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ●市民生活の拠点である駅周辺など、それぞれの特性に合わせた整備を進め、まちのにぎわいをつくります。 ●産業の拠点としての工業団地の機能を充実させ、産業のにぎわいをつくります。
------	--

3 平成30年度取組状況 (Do①)

取組1 市役所・白井駅周辺や西白井駅周辺などでの地域特性に合わせたにぎわいづくり						
取組方針	市役所・白井駅周辺、西白井駅周辺で、商業施設などの進出を誘導するとともに、各事業者が連携してマルシェなどのイベントを開催するなど、にぎわいづくりを進めます。					
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所周辺において、にぎわいと交流のための施設の誘導を図るため、都市計画変更（用途地域の変更・地区計画決定）について都市計画審議会に諮問した（H31年度継続）。 ・都市マスタープランで「公益的施設誘導地区」と位置付けされている市街化調整区域において、にぎわいと交流や地域振興等に寄与する施設の誘導を図る「根公益的施設誘導地区地区計画」の都市計画決定をした。 ・白井駅周辺における新たな賑わいの創出を図るための事業手法として「PPP/PFI調査」の検討を行った。 ・市民の力を活かしたにぎわい・交流づくりを進めるため、市民パートナー等が中心となって開催する「ときめきマルシェ」に対し、総合相談や物品の貸し出し、開催の周知など、必要な支援を行った。 ・駅前イベントについては、財政健全化の取組にイベントの統廃合を掲げていることや商店会等との協議により商店会等としても負担を減らしたいということから、駅前イベントは廃止し、ふるさとまつりを総合公園で開催するなど賑わいを集約する。 					
構成事業	事業No	事業名	評価	事業No	事業名	評価
	34	中心都市拠点・生活拠点づくり事業	現状のまま継続	36	フェスティバル開催事業	廃止（30年度）
	35	マルシェにぎわいづくり支援・協働事業	改善して継続			

取組2 工業団地への産業機能の集積に向けた環境整備						
取組方針	工業団地へのアクセス道路の整備を進めます。					
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・工業団地及びその周辺から一般国道16号へのアクセス道路を整備するため、用地取得に取り組んだ。（平成30年度取得面積3,199.75㎡、これまでの総取得面積10,112.82㎡で、取得率は67.6%となった。） ・交付金が要望額を下回ったため事業スケジュールを見直しを行った（H32末→H33末）。 ・白井工業団地を横断する道路（市道00-003号線及び00-005号線などの沿道）において、工業団地の質の向上に寄与する利便施設の誘導を図るための都市計画変更（用途地域の変更、地区計画の決定）の手続きを継続中（H31年度継続）。 ・当該都市計画変更（用途地域の変更、地区計画の決定）に係る地権者向け説明会を2回開催した。 					
構成事業	事業No	事業名	評価	事業No	事業名	評価
	37	工業団地アクセス道路整備事業	現状のまま継続			
	38	工業専用地域振興事業	現状のまま継続			

4 施策展開の状況 (Do②)

改善した取組	<ul style="list-style-type: none"> ・都市マスタープランの公益的施設誘導地区に進出する企業へのインセンティブとして、開発者に奨励金を交付する制度を創設した。
他分野・他施策との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・都市建設部門と産業振興部門が連携して都市マスタープランの公益的施設誘導地区への企業進出を促進するため、進出企業に対するインセンティブ策として、関係機関等との協議の支援、企業の負担軽減策を講じるとともに、「白井市商業施設等誘致促進条例」を制定し、奨励金制度を創設した。 ・都市建設部門と保育・子育て支援部門が連携して、商業施設等の開発に当たり、根公益的施設誘導地区において子育て支援施設（送迎ステーション機能や小規模保育所）も併せて誘導した。

5 施策推進コスト(Do③)

(千円、%)

	H28決算	H29決算	H30決算	H31予算	R2予算
事業費	16,264	52,362	70,437	255,804	587,533
人件費	7,323	7,275	7,186	18,770	18,770
合計	23,587	59,637	77,623	274,574	606,303
プロジェクト内割合	7.4	16.4	17.3	33.4	50.7



6 1次評価(Check①&Action①)

定量的評価	施策指標名	単位	基準値/基準年度		目標値	実績値				
					R2年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
	駅周辺がにぎわっていると思う市民の割合	%	-	-	33.0	16.1	14.3	13.2		
	白井駅周辺の流動人口(月平均)	人	44,666	(H27)	54,100	49,166	51,183	国の公表待ち		
	西白井駅周辺の流動人口(月平均)	人	74,766	(H27)	84,600	76,900	92,166	国の公表待ち		
	工業団地立地事業者数(協議会加盟社)	社	278	(H27)	278	278	271	270		
定性的評価	各拠点のにぎわいづくりには、商業施設等の立地促進や道路整備などのハード面と、イベントの開催などのソフト面があり、ハード面では商業施設等の進出を誘導する市街化調整区域における地区計画を決定し、ソフト面ではマルシェなどのイベント開催に当たって必要な支援を行い、それぞれにぎわいづくりを進めた。								進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調 <input type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 遅れている
課題	喫緊の課題				中長期的な課題					
	工業団地アクセス道路の整備に必要な用地の確保及び整備費の確保が課題である。				にぎわいをつくるためには、土地所有者をはじめ地域住民の理解と協力が必要である。また、イベントなどの開催に当たっては、市民団体や事業者が主体となり実施できるように支援していく必要がある。					
施策の方向性(改善策)	短期的な方向性				中長期的な方向性					
	工業団地アクセス道路の整備に向け早期に用地を取得し、整備についても計画的に進める。				各拠点において商業施設やにぎわい施設の誘導を図るとともに、地権者等に分かりやすく都市計画法等の制度について説明し、各地区に応じた提案型の土地利用のルールづくりを促進していく。 また、イベントの実施に当たって、市民団体等の自立を促していく。					
施策を取り巻く環境の変化	人口減少・高齢化社会を迎え、にぎわいの創出と魅力あるまちづくりを進めることで若い世代の移住・定住の促進と産業の活性化などによる持続可能なまちづくりが求められている。									
市民と行政の役割分担・協働	<input type="checkbox"/> 行政の役割を拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現在の行政と市民の役割分担・協働を維持 <input type="checkbox"/> 市民の役割・協働を拡大 にぎわいを創出するイベントの開催や提案型の土地利用のルールづくりは、事業者や地域住民が主体となり、地域の特性に応じた取組が必要である。									

7 2次評価(Check②&Action②)

白井市行政評価委員会による評価

- ・白井工業団地の活性化に向けて、工業団地アクセス道路の整備を財政状況を勘案しながら、計画的に進めること。
- ・駅前等でのイベントの開催に当たっては、イベントの趣旨について市民等と共通認識を図り、市民等と行政の役割分担を明確にして取り組むこと。
- ・都市拠点における空き店舗の活用、商業施設等の誘致など、駅周辺の具体的な活性化策を検討すること。
- ・少数の市民のデータではあるが、駅周辺のにぎわいに対する市民満足度が低迷していることから十分留意すること。
- ・西白井駅周辺の未利用地(給食センター跡地)の利活用に向けて、具体策の検討を進めること。

8 3次評価(Check③&Action③)

総合計画審議会による評価

平成30年度に実施済み。平成31年度は未実施。

9 3次評価の改善意見等への対応

--